



にするための新アイテムや新しい仕組みのアイデアを広く募集しました。

告知後は学生の皆様ならではの視点から複数の提案が寄せられ、日常の学びや実習経験をもとにしたアイデアのほか、「薬剤師が無意識に行っている作業をもっと簡略化できないか」「患者さん対応の時間を増やすためにはどうすればよいか」といった、現場目線と学生ならではの柔軟な発想を掛け合わせた提案が数多く見られました。

2026年4月25日には、昭和医科大学旗の台キャンパスにてプレゼンテーション選考会を開催。応募者によるプレゼンテーションが行われ、それぞれのアイデアに込めた思いや実用性、将来性などについて熱意ある発表が行われました。

発表では、調剤現場の作業導線を改善する提案や、確認作業の負担軽減につながるアイデアなど学生ならではの視点から生まれた斬新な発想が披露されました。



また、本企画の選考には、一般社団法人品川区薬剤師会様より薬剤師の先生方に審査員としてご協力いただきました。実際に地域医療を支える薬剤師の立場から、現場での実用性や安全性、業務改善への有効性などについて専門的な視点で審査いただき、学生の皆様にとっても貴重な学びの機会となりました。現場の薬剤師様から直接意見や講評を受けることで、学生の皆様は医療現場が抱える課題や、実際に求められる視点について理解を深めることができました。

本企画の実施にあたっては、昭和医科大学統括研究推進センター様が学内調整や企画運営に協力し、同センター副センター長の肥田典子先生が、シンリョウ



昭和医科大学 旗の台キャンパス
〒142-8555
東京都品川区旗の台1-5-8
TEL:03-3784-8000
<https://www.showa-u.ac.jp/>

との連携や学内での企画推進を担いました。

本企画は、大学で学ぶ学生の柔軟な発想力と、企業や医療現場が持つ実践的な知見を結び付ける産学連携の取り組みとして、大きな意義を持つものとなりました。今後も医療現場の課題解決につながる製品・サービス開発を推進することにも、学生や教育機関との連携を通じて、新たな価値創出に取り組んでまいります。

アイデアについては今後の商品化も視野に検討を進める予定です。学生の皆様の自由な発想が、未来の医療現場を支える新たな製品や仕組みにつながることを期待しています。

昭和医科大学 × SHINRYO

調剤業務効率化アイデア募集 プレゼンテーション選考会を実施しました



昭和医科大学様と株式会社シンリョウは、昭和医科大学統括研究推進センター様の協力のもと、調剤業務の効率化につながる新たなアイデアを募集する産学連携企画「調剤業務効率化アイデア募集」を実施しました。本企画は、薬剤師様が日常業務の中で「当たり前」として行っている作業に対し、学生の皆様ならではの自由な発想や柔軟な視点を取り入れることで、現場課題の解決や新たな価値創出につなげることを目的として開催されたものです。

近年、薬局や医療現場では、患者様対応の充実や対人業務の強化が求められる一方で、薬剤師様の業務負担軽減や作業効率化も重要な課題となっています。そこで本企画では、昭和医科大学薬学部、生および薬学研究科の大学院生の皆様を対象に、調剤業務をより効率的かつ安全

